

Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021
【受賞者のプロフィール等】

風間 サチコ (かざま さちこ)

～木版を中心に作品を発表～

1972年東京都生まれ。東京都在住。1996年武蔵野美術学園版画研究科修了。

「現在」起きている現象の根源を「過去」に探り、「未来」に垂れこむ暗雲を予兆させる黒い木版画を中心に制作する。ひとつの画面にさまざまなモチーフが盛り込まれ構成された木版画は漫画風でナンセンス、黒一色のみの単色でありながら濃淡を駆使するなど多彩な表現を試み、彫刻刀によるシャープな描線によってテーマを巧みに表現する。



《人外交差点》
木版画(パネル、和紙、油性インク)、2013
撮影: 渡邊 修
Courtesy of Mori Art Museum
Queensland Art Gallery | Gallery of Modern Art蔵

下道 基行 (したみち もとゆき)

～写真を中心に作品を発表～

1978年岡山県生まれ。岡山県在住。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。

「戦争のかたち」シリーズ(2001-2005)など、旅やフィールドワークをベースにした制作活動で知られる。生活のなかに埋没して忘却されかけている物語、些細すぎて明確には意識化されない日常的な物事を、写真やインタビューなどの手法によって編集することで顕在化させ、地続きの出来事として「再」提示する。



《漂泊之碑》ガラス、ミクストメディア、2015-